

第2回 地域運営推進会議報告書

【開催日時】 令和5年10月17(火) 14:00~14:45

【開催場所】 REHAP 神領

【出席者】

地域住民代表者 : 民生委員 A 様
知見を有する者 : 民生委員 A 様
行政関係者 : 地域包括支援センター B 様
当事業所職員 : 管理者兼機能訓練指導員 佐藤岬、介護職員兼生活相談員 多田
ご家族様 : C 様出席
ご利用者様 : D 様出席

【司会】 佐藤岬

【発表者】 佐藤岬

1. 自己紹介

2. 運営推進会議の目的

平成28年、介護保険法改正に伴い、地域密着型サービスにて事業所運営の透明性の確保や、サービスの質向上を目的に、運営推進会議を設置する事が義務づけられました。REHAP 神領（当事業所）においては、当事業所の取り組みを発信することに加え、地域住民、関係者の皆様のご意見を伺い、交流を深めることで、より地域に開かれたサービスの運営を目指すことを目指して運営推進会議を実施します。運営推進会議を通じて、さまざまな立場の方々の違った視点からご意見やご助言を得ることで、これまで自分たちでは、気が付かなかった事業所の課題やサービスの改善・向上のためのヒントが見つかり、事業所(従業員)の能力を高めるきっかけづくりにもつなげていきたいと考えております。

3. 沿革・方針

当施設は、東海記念病院が母体の地域密着型通所介護サービスとして2023年1月16日に開所しました。

「安心と喜びを感じていただける地域医療を提供します」の病院理念のもと、利用者様、ご家族様、サービス関係者様が安心して利用でき、喜びを感じていただけるようなサービスを目指しております。小規模だからこそ皆様と密接にかかわることができ、個々に合わせたきめ細やかなサービス提供ができると考えております。また、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、看護師などの専門職が常駐しており、加えて定期的に管理栄養士も来所する為、ご病気や障害をお持ちの方にも安全に運動の実施をしていただけることや、健康や栄養に関する相談を行うことが出来ます。また、東海記念病院との連携も充実しております。

4. 業務内容

～運営内容～

- <定員> 午前と午後の2部制であり、午前と午後各18名までの地域密着型通所介護施設です。
- <職員> 管理者(作業療法士)、生活相談員(社会福祉士)、看護師、理学療法士、介護職員(介護福祉士)、管理栄養士(定期的に来所) ※全スタッフが介護又は看護、リハビリに関する有資格者
- <範囲> 要介護認定(要介護1～5)を受けた方への地域密着型通所介護。
要支援(要支援1、2)、事業対象者の方への介護予防・日常生活支援総合事業
- <曜日> 月～金曜日(祝日は営業：年末年始は除く)
- <時間> 営業時間：8：15～17：00 提供時間：AM 9：00～12：10、PM 13：10～16：20

～サービス提供内容～

別紙参照

～業務内容～

- <送迎>朝と昼と夕方に送迎を行っています。歩行器など歩行補助具を使用している方も送迎可能です。
- <機能訓練・介護>
機能訓練(マシントレーニング、自転車エルゴメーター、レッドコードなど)、レクリエーション。
移動やトイレなどに介助が必要な方はお手伝い致します。
看護師による体調管理、その他日常生活援助。
※食事や入浴はありません。

5. ご利用様内訳(令和5年10月16日時点)

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
5	22	19	11	12	7	2	0

- ・登録利用者数 計：79名
- ・男女比内訳：男性31名、女性48名
- ・休止中：4名(体調不良や入院の為)
- ・利用者延べ数：329名(令和5年9月末日時点)

6. 運営指導について

2023年10月17日の午前中に実施しました。

7. 活動報告

- 2月 消防・避難訓練
- 3月 公園へのお花見も兼ねた屋外歩行訓練
- 8月 消防・避難訓練
- 10月 運営指導、運営推進会議

8. 感染対策

【感染症対策】

- ・職員・ご利用様のマスク着用
- ・職員・ご利用様の体調確認と発熱時や風邪症状がある際は出勤・ご利用をご遠慮して頂く。
- ・物品の小まめな消毒

9. インシデント・事故報告(2023年5月～10月現時点まで)

事故報告：4件

■内容：転倒：4件（内：3件は怪我や有害事象なし。1件は怪我、有害事象があり入院に至った。）

■転倒に対するの対策

- ・環境調整
- ① 玄関のスロープの手すりが短かった為、延長した。（実施済み）
- ② トイレ内の手すりを増やす。（今後実施予定）

・スタッフの対応

- ① 体調の確認を実施し、体調が悪い際は体調の変化や転倒に注意する。
- ② トイレが終了した際にナースコールを押して頂くようお伝えする。

インシデント：1件

■内容：ペースメーカー留置の利用者様に InBody 測定（体組成計であり、微弱な電気が流れる為、ペースメーカー留置している方への実施は禁忌）を実施してしまった。怪我や有害事象なし。

■ペースメーカー留置している方への InBody 測定実施を防ぐための対策

- ① InBody 本体機器に「ペースメーカーの方禁止」のシールを貼る。
- ② ペースメーカー留置しているご利用者様の名札に分かるよう「♡」のシールと「InBody×」のシールを貼る。

10. 地域連携の取り組み

- ・8月に管理栄養士による健康講話を実施。（テーマ：栄養ワンダー 間食のすすめ）
- ・9月にリハビリテーション専門職による健康講話を実施。（テーマ：健康寿命を延ばす秘訣）
- ・10月28日にリハビリテーション専門職によるレッドコードでの運動体験を実施予定。

議題

1. 当事業所をご利用して頂き、良かった点や改善点。（例：運動内容：運動のきつさ、楽しさ、飽きてきたなど、スタッフの接客についてなど）
2. 地域に当事業所がある事で良かった点や改善点などを教えて頂けると大変ありがたいです。
3. 近隣の方に当事業所がどんな場所であると良いか。

11. ご要望、ご助言

【ご意見・ご質問】

ご家族様 C 様：1 番のメリットは近いことです。自分で歩いて通うことができ嬉しいです。主人とも一緒に来ることができて良かったです。なんととっても職員さんも利用者さんもみんな良い方ばかりです。遠くからみても気づくと傍にいてくれるし、利用日が来るのが待ち遠しいです。足が以前より強くなった気がします。「来週もまた会いましょう」と言えるお友達ができたことが嬉しいです。頑張っている方を見れば、私も頑張るってやらないといけないと励みになります。

ご利用者様 D 様：医師からは「身体を動かして運動をなささい」といわれるが、なかなか一人では運動できないので、こういうところで身体を動かすことができるのは嬉しいです。近いのもうれしいです。検査の結果も良くなりました。

民生委員 A 様：介護制度を使わない前の方が、ジムや介護予防としてワンコインで施設を利用したいです。ここで集まってやっていただけるとありがたいです。

当事業所職員：土曜日を開催日として、一般の地域住民の方々に向けた健康講話を徐々にやりはじめています。ワンコインをいただくかどうかや、運用方法は東海記念病院にも伝えて協議します。

ご利用者様 D 様：<春日井いきいき体操を広める会>を老人クラブでやっていました。パタカラ体操もやっていました。コロナでやめてしまいました。

民生委員 A 様：第一月曜日に社会福祉協議会で専門職での講話を依頼しています。健康体操など) 11/23・3 世代交流会を神領小学校で行う予定です。地域のみなさまが健康で、運動出来るような集まりなどの場所に REHAP さんも開放していただくとありがたいです。

地域包括支援センターB 様：REHAP がオープンして飛躍的に伸びていると思います。利用者様も運動したい、フレイル予防の交流の場として、コロナでやれなかったのが紹介しやすくなりました。イベントやお祭りなどを開催して、地域の方に開放していくのはどうか？風通しをよくしておく、相談しやすくなり、気軽に立ち寄ることができる場所を作っておくと良いのではないのでしょうか。今後は違う店舗を出す予定はないですか？

当事業所職員：今後、違う店舗も検討しているが現状は未定です。地域の方への開放も視野にいれています。

当事業所職員：町内で防災訓練がある際に、可能であれば参加したいです。

地域包括支援センターB 様：近所のグループホームでゴミゼロ運動の後に一緒に防災訓練を行っています。

民生委員 A 様：自治消防、神ぼり消防団がありました。25歳から35歳くらいの消防団だが、日中は仕事をしているため、日中に対応がなかなかできないです。町内としては毎年訓練をおこなっています。高見堂古墳で消防訓練を60代から80代で行っています。点検も区長が行っています。ご意見ありがとうございました。

【まとめ】今回、開所して2回目の開催となりました。現在の地域の活動状況や REHAP が地域の為どのように関わりを持てるかなど具体的な内容を話し合う事ができました。今後も、ご意見をいただき、微力ながらも地域の方々へのニーズやご要望に応えられるよう尽力して参ります。

12. 次回の開催について

半年後の 2024 年 4 月ごろを予定しております。皆様のご都合をお聞きし決めたいと思います。議題、テーマがございましたら随時ご連絡ください。